

(様式第1号)

令和1年9月27日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領域名：マネジメントに関する領域

科目名：介護分野の人材育成と学習支援

単位数：1

認証申請する研修の名称：認定介護福祉士養成研修

団体名：一般社団法人岡山県介護福祉士会

団体事務所の所在地：〒700-0807


岡山市北区南方2-13-1 きらめきプラザ7階

電話：086-222-3125

FAX：086-222-6780

E-mail：okayama-kaigo@woody.ocn.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者：会長 安達 悦子 

申請責任者：事務局長 神實 誠子

記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙 1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	令和1年9月27日
申請団体名	一般社団法人岡山県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	会長 安達 悦子
申請責任者職名	事務局長
申請責任者氏名	神寶 誠子
団体住所	〒700-0807 岡山市北区南方 2-13-1 きらめきプラザ 7階
同 Tel・Fax	Tel : ( 086 )-( 222 )-( 3125 )
メールアドレス	Fax : ( 086 )-( 222 )-( 6780 ) E-mail <u>okayama-kaigo@woody.ocn.ne.jp</u>
申請対象の領域	領域名 : マネジメントに関する領域
科目名 (単位数)	科目名 : 介護分野の人材育成と学習支援 (1単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 ( ) 年 認証番号 ( ) 年 認証番号 ( )
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	マネジメントに関する領域	
科目名	介護分野の人材育成と学習支援	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を支援する組織のあり方や学習の理論を理解させ、自職場における学習する組織づくり、地域包括ケアにおける社会環境づくりについて実践する力を育成する。</li> </ul>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長を支援する組織のあり方のポイントについて、概説できる。</li> <li>・成人の学習に関する原則のポイントについて、概説できる。</li> <li>・以上を踏まえて、自職場の人材育成の現状と課題を分析し、改善策について検討できる。</li> <li>・地域包括ケアをふまえた社会環境づくりにむけた学習プログラムを企画できる。</li> </ul>	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 成長を支援する組織 <ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員満足、顧客満足とサービスプロフィットチェーン</li> <li>・専門性と組織性の統合</li> </ul> </li> <li>○ 成人の学習に関する原則 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のメカニズムと学習モデル…成人学習、経験学習、批判的思考、実践共同体、協調学習、学習する組織</li> <li>・経験学習モデルから自身の</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前課題1（2時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人学習理論に関する資料を読み、職場における人材育成や職員の学習支援に活かせるポイントを2000字程度でレポート</li> <li>参考資料：マルカル・ノールズ著『成人教育の現代的実践 ペタゴジーからアンドラゴジーへ』鳳書房</li> </ul> </li> <li>○ 事前課題2（1時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身が経験してきた「成長を促す体験」について、その内容とどのように成長したのかを1000字程度でレポート</li> </ul> </li> <li>○ 事前課題3（2時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成の体系や評価方法についての資料を読み、職場における人材育成の体系、各研修の方法について、キャリアパスやキャリアラダー等との連動、成果と課題について2000字程度でレポート</li> </ul> </li> <li>[研修当日]</li> <li>(講義)（1時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織とサービスの関係の中で、サービスプロフィットチェーンの仕組みを理解し、人材育成の重要性を理解する。</li> <li>・介護サービス提供組織の特性を理解する。生産と消費が同時に行われる「サービス」、顧客満足と従業員満足、企業の三者における因果関係と人材育成。</li> </ul> </li> <li>(演習)（1時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの質向上が利用者の満足につながり、事業の発展と職員への帰結につながることを、ワークシートを用いて検討する。</li> <li>また、自職場の立場から自身の専門性と組織性についてワークシートに書き出し、自身の専門性と組織性は何かを理解する。それらが相互補完的であることを理解し、成長を支援する組織のあり方を検討する。</li> </ul> </li> <li>(講義・演習)（2時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人学習理論について事前課題1を踏まえて講義する。</li> <li>成人学習、経験学習、実践共同体、協調学習、学習する組織、アンドラゴジーとペタゴジー、スーパービジョン、アンラーニング 等</li> </ul> </li> </ul>

	<p>学びと成長を振り返る。…成長を促す体験」、概念化、経験の言語化</p> <p>○ 人材育成の体系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インストラクショナルデザインと職場の環境づくり</li> <li>・ 介護職のキャリアラダーとキャリア開発</li> <li>・ 教育・研修体系の構築と評価</li> </ul> <p>○ 地域包括ケアシステムの構築と社会環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域包括ケアを見据えた地域での学習の展開の必要性</li> <li>・ 多職種連携教育、地域住民等学習プログラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経験学習モデルから自身の学びと成長を振り返る。学習者自身の経験を経験学習モデルの4つの段階に当てはめて検討する演習を通して、具体的な経験を省察する方法、概念化する方法、実践に活かしていく方法を学習する</li> <li>・ 経験学習モデルの学びから教育と学習の違い、動機づけ理論、目的を叶えるためと成長システムとしての教育制度について学習する。</li> <li>・ 概念化の作業をとおして、経験の言語化とセオリー（持論）を導き出す演習、導き出したセオリー（持論）を実践に移していく方法を検討する演習を行い、概念化の方法を理解するとともに、経験学習モデルを理解する。</li> </ul> <p>（講義・演習）（2時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インストラクショナルデザインと職場の環境づくり、介護職のキャリアラダーとキャリア開発、教育・研修体系の構築と評価、主体的に学ぶための学習環境デザインについて事前課題3を踏まえて講義する。</li> <li>・ 自職場の教育・研修についてインストラクショナル・デザインを用いて分析・評価し、研修体系と個別研修の課題を発見する。</li> <li>・ 自職場の教育・研修体験等を踏まえて、部下や後輩の成長や学びが促進される学習展開、学習環境デザインについて検討する。特に、経験学習モデルを用いて、部下や後輩の経験を概念化できる研修や指導方法を検討する。</li> </ul> <p>（説明：事後課題に向けて）（30分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域における多職種連携協働が機能するための多職種連携教育、地域での展開について理解する。</li> <li>・ 地域包括ケアを見据えた地域での学習の展開の必要性を理解し、地域住民等の学習プログラムを作成する。（地域住民を対象にした、障がいや認知症、社会的孤立の理解を通して地域や福祉を身近なものとして考える学習プログラム等）</li> </ul> <p>○ 事後課題（2時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民を対象にした、障がいや認知症、社会的孤立の理解を通して地域や福祉を身近なものとして考える学習プログラムの企画案を2500字程度で作成する。</li> </ul>
<p>研修方法</p>	<p>■ 集合研修</p> <p>■ 課題学習</p> <p>○ 集合研修は講義と演習を組み合わせて行う。</p> <p>○ 課題学習は事前・事後課題としてレポート課題を課す。評価は担当講師が行う。</p>	
<p>研修時間</p>	<p>15時間（集合研修8時間、課題学習7時間）</p>	
<p>修了要件</p>	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変等のやむを得ない事情による遅刻、早退は30分以内とし、30分を越える遅刻・早退は認めない。30分以内の遅刻・早退の場合は、レポート課題を提出するものとする。</p> <p>○事前・事後課題の提出がない場合は修了を認めない。</p>	
<p>講師要件（講師の選定基準）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること</li> <li>・ 修士課程を修了していることが望ましい</li> <li>・ 介護福祉士で介護職員として10年以上の勤務歴を有する者 ②介護現場をフィールドとした組織行動論にかかわる研究論文（筆頭者以外を含む）を執筆している者</li> <li>③その他、介護現場の実態について理解が十分あり、①②に準ずると認められる者が望ましい</li> </ul>	

(2)受講者について	
受講対象 (受講要件)	<p>単位取得できるのは介護福祉士資格を有する者であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I 類修了者</li> <li>・ ユニットリーダー又はサービス提供責任者以上の職歴が3年以上の者が望ましい。</li> </ul>
修了評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎理論については、知識チェック（テスト）を行う。 40点</li> <li>・ 地域包括ケアをふまえた社会環境づくりに向けた学習プログラムの企画案（事後課題）の内容 30点</li> <li>・ 自己演習＋演習・講義への参加貢献度 30点</li> </ul>
(3)研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	15名（講師1名）演習時も同じ講師で行う。 ファシリテーター1名
開催場所（都道府県）	岡山県

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 2022年(調整中)
	②
	③
開催場所(会場)	① 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館
	(岡山市北区南方2-13-1)
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	担当講師(演習・課題・評価): 仁木 則子 氏
	<b>【職歴】</b>
	現職 社会福祉法人津山福祉会 特別養護老人ホーム高寿園 施設長 平成2年～社会福祉法人さつき会 福岡保育園 平成9年～社会福祉法人津山福祉会 特別養護老人ホーム高寿園 平成27年～ " 施設長
	<b>【講師経験・社会活動等】</b> 社会福祉士実習指導者養成研修 講師 社会福祉士障害研修 基礎課程 講師  全国経営者協議会 人材確保及び地域交流に関する 事例発表 日総研 隔月刊誌 人材確保に関する機構
	<b>【著書等】</b>
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	認定介護福祉士養成研修実行委員会(岡山県介護福祉士会 正副委員長・事務局員) 10名内常勤2名
研修の企画運営に関する 諸規程	岡山県介護福祉士会定款に準ずる
研修管理責任者職名	岡山県介護福祉士会研修委員長
研修管理責任者氏名	松島 智枝美
機構問合先部署	岡山県介護福祉士会事務局
機構問合先担当者氏名	藤原 美恵子
機構問合先電話番号/FAX	TEL 086-222-3125/ FAX 086-222-6780
機構問合先e-mailアドレス	okayama-kaigo@woody.ocn.ne.jp
受講問合先部署	岡山県介護福祉士会事務局

受講問合せ先担当者氏名	藤原 美恵子
受講問合せ先電話番号/FAX	TEL 086-222-3125/ FAX 086-222-6780
受講問合せ先 e-mailアドレス	okayama-kaigo@woody.ocn.ne.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	岡山県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■紙媒体及びデータによる台帳管理</li> <li>■外付けディスクにバックアップデータを保管する</li> <li>■データ保存期間は10年間、その後は外付けディスクでデータを保管する。</li> <li>■個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。</li> </ul>
受講履歴の証明	各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、全過程を修了した者には、岡山県介護福祉士会会長名による修了証明書を発行する。
管理責任者氏名	事務局長 神寶 誠子
管理担当者氏名	事務局員 藤原 美恵子

(別添資料)

集合研修における具体的なコマシラバス

申請対象の領域 マネジメントに関する領域

科目名 介護分野の人材育成と学習支援

集合研修の総時間数 8 時間

1日目 (8時間)

時間	テーマ	展開内容 (講義ポイントや演習の展開内容)	留意事項等	担当講師 (補助講師)
9:00~9:45 1h	1. 成長を支援する組織①	〔講義〕 ○ 従業員満足、顧客満足、サービスプロフィットチェーン、専門性、組織性、専門性と組織性の統合 ○ 介護サービス提供組織の特性と職員の成長		仁木則子
9:45~10:30 1h	1. 成長を支援する組織②	〔演習〕 ○ サービスの質向上が利用者の満足につながり、事業の発展と職員への帰結につながることをワークシートを用いて検討する。 ○ 自職場の立場から自身の専門性と組織性についてワークシートに書き出し、自身の専門性と組織性は何かを理解する。それらが相互補完的であることを理解し、成長を支援する組織のあり方を検討する。	5人×3グループの演習 ワークシート(講師作成) ・利用者満足とよりよい事業所 ・サービスを提供する人材育成	仁木則子 ファシリテーター 小泉立志



			・自職場における自身の役割りと人材育成システム	
10:30～10:40	休憩			
10:40～12:10 2h	2. 成人の学習に関する原則④	〔演習〕 ○ 経験学習モデルから自身の学びと成長を振り返る概念化の作業をとおして、経験の言語化とセオリー（持論）を導き出す演習、導き出したセオリー（持論）を実践に移していく方法を検討する演習を行い、概念化の方法を理解するとともに、経験学習モデルを理解する。	5人×3グループの演習	仁木則子  ファシリテーター 小泉立志
12:10～13:00	休憩			
13:00～14:30 2h	3. 人材育成の体系	〔講義・演習〕 ○ 人材育成の体系的理解 ・ インストラクショナル・デザインと職場の環境づくり ・ 介護職のキャリアラダーとキャリア開発 ・ 教育・研修体系の構築方法（OJT, OFF-JT, SDS） ○ 教育・研修体系の評価方法 ・ インストラクショナル・デザインによる研修評価方法 ・ 4段階モデル（反応、学習、行動、結果）、TOTE		〃

		<p>モデル(必要性、事前準備、習得主義、研修効率)、ARCS モデル(注意、関連性、自信、満足度)等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人材育成(教育)システムの評価</li> </ul> <p>○ 研修の評価と改善のための演習</p> <p>(1) 自職場の教育・研修についてインストラクショナル・デザインを用いて分析・評価し、研修体系と個別研修の課題を発見する。</p> <p>(2) 自職場の教育・研修体験等を踏まえて、部下や後輩の成長や学びが促進される学習展開、学習環境デザインについて検討する。特に、経験学習モデルを用いて、部下や後輩の経験を概念化できる研修や指導方法を検討する。</p>	<p>5人×3グループの演習</p> <p>人材育成の体系①②</p> <p>課題「人材育成の体系や評価方法についての資料を読み、職場における人材育成の体系、各研修の方法について、キャリアパスやキャリアラダー等との連動、成果と課題についてのレポート」を演習に使用する。</p>	
14:30～14:40	休憩			
14:40～15:25 1 h	4. 地域包括ケアシステムの構築と社会環境づくり ①	<p>[説明：事後課題に向けて]</p> <p>○ 地域包括ケアを見据えた多職種連携教育の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域における多職種連携協働(IPW)が機能するための多職種連携教育(IPE)の実践事例を基に</li> </ul>		仁木則子 (小泉立志)

		<p>地域での展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の社会環境づくりのための住民教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域包括ケアを見据えた地域での学習の展開の必要性</li> <li>・ 地域住民等の学習プログラム</li> </ul> </li> <li>○ 地域住民対象の学習プログラム作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域包括ケアシステムの構築と社会環境づくり ②の課題「地域住民対象の学習プログラムの企画案」の作成について</li> <li>・ 地域住民を対象にして、障がいや認知症、社会的孤立の理解を通して地域や福祉を身近なものとして考える学習プログラム等</li> </ul> </li> </ul>		
15:25～16:10	基礎知識チェック (筆記テスト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎理論について</li> </ul>		

(1 時間は 45 分換算とする)

## 主担当講師の教育活動履歴等

### 1. 氏名

仁木 則子

### 2. 現在の所属

社会福祉法人津山福祉会 特別養護老人ホーム高寿園

### 3. 略歴（職歴、講師経験・社会活動等）

#### 3-1. 職歴〔介護・福祉に関する実務経験、教育・研究活動歴等〕

平成2年4月～平成9年7月 社会福祉法人さつき会 福岡保育園

平成9年8月～ 現在 社会福祉法人津山福祉会 特別養護老人ホーム高寿園

平成27年11月～ 施設長

#### 3-2. 講師経験・社会活動等〔介護・福祉に関する講師活動、調査・研究・評価等の活動〕

社会福祉士実習指導者養成研修 講師

社会福祉士生涯研修 基礎課程 講師

全国経営者協議会 人材確保及び地域交流に関する事例発表

日総研 隔月刊誌 人材確保に関する寄稿

### 4. 著書等

## 主担当講師の教育活動履歴等

### 1. 氏名

小泉立志

### 2. 現在の所属

社会福祉法人鶯園 特別養護老人ホーム千寿荘

岡山県老人福祉施設協議会 会長

公益社団法人全国老人福祉施設協議会 理事

岡山県介護保険関連団体協議会 副会長

### 3. 略歴（職歴、講師経験・社会活動等）

#### 3-1. 職歴〔介護・福祉に関する実務経験、教育・研究活動歴等〕

昭和57年 4月 社会福祉法人鶯園 勤務（特別養護老人ホーム鶯園 指導員）

平成 4年 6月 社会福祉法人鶯園 特別養護老人ホーム鶯園 次長

8年10月 社会福祉法人鶯園 特別養護老人ホーム千寿荘 荘長 現在に至る

#### 3-2. 講師経験・社会活動等〔介護・福祉に関する講師活動、調査・研究・評価等の活動〕

講師活動：年間12回以上

厚生労働省 社会保障審議会 介護給付費分科会 委員

要介護認定情報・介護レセプト等情報の提供に関する有識者会議 委員

### 4. 著書等

- ・平成21年9月～平成22年1月 日総研 隔月刊「福祉人材育成」  
こうすれば人は集まる！施設のカイゼン3年戦略 3回連載